

「いのちを守る」為に20年間全力で走り続けてきました。

*より詳しい実績と公約はこちら→



◎これまでの実績を一部ご紹介します

さらに進めます

自殺においこまれない取りくみを進めました

- どんなお困り事もワンストップで相談できる福祉の総合相談窓口「ほっとかん」を新設しました
- 市役所の相談窓口や行政センターで毎日、食料を提供しています
- 日曜・祝日・連休・年末年始も市役所をオープンし、相談支援、食料提供、生活保護の申請受理を実施しています(全国でもほぼ唯一です！)
- 24時間どこでも相談できる「よこすか福祉LINE相談」を実現しました
- こども・若者が相談しやすい体制を作る為に全国規模のNPOと横須賀市で連携協定を結び、LINE・チャット相談から市へ情報提供を受けて、市が24時間体制で包括的に支援する体制をつくりました

「性的な多様性」の保障を進めました

- パートナシップ宣誓証明書制度を引っ越し先でも利用できるように連携協定を三浦半島4市1町・横浜市と結びました
- 人権を最重要課題として扱う為に、市民部人権・男女共同参画課を市長直属の市長室人権・ダイバーシティ推進課へと組織改正しました

「赤ちゃんを産みたい」を全面的に支援しました

- 「不妊・不育専門相談センター」設置を実現、さらに民間企業と提携し全国初の「妊活LINEサポート」をスタートしました
- 保険適用後も高額な不妊治療費を支援する為、県内で唯一、新たな不妊症治療への補助(生殖補助医療費助成)を実現しました
- 生まれる前からの健康づくり支援「プレコンセプションケア」を市役所全庁で取り組む新たな体制をスタートしました
- 2500g未満と小さく生まれた赤ちゃん(リトルベビー)とご家族を支援し、社会を啓発する様々な取り組みをスタートしました
- 流産・死産等の悲しみを臨床心理士のカウンセリングを受けられる体制を実現しました(エンジェル・サポート事業)
- 国内の自治体として初めて天国の赤ちゃんにご家族を支援し社会を啓発する国際週間に様々な取り組みを実施しています(ベイビー・ロス・アウェアネス・ウィーク=毎年10月9日~15日)

◎これからさらに実現していきます

自殺に追い込まれる方をさらに減らします

- 「第2期自殺対策計画」は犠牲者30%以上減少を目標値に設定します
- 23時までの「横須賀こころの電話」を24時間体制へ充実させます
- 市役所と行政センターを土日もオープンし、保健・医療・福祉の総合相談体制を実現します
- 相談を待たずに行政から訪問するアウトリーチ体制をさらに充実させます
- 自殺率が高く、他人に助けを求めたり相談するのが苦手な中高年男性が相談しやすい新たな相談体制を作ります
- 発達障がい・精神障がいのある方々への生涯を通じた支援を進めます

「性的な多様性」の保障をさらに進めます

- こどもを含む多様な家族のあり方を公的に保障する為に「ファミリーシップ制度」を早期導入します
- トランスジェンダー差別をはじめ、差別禁止を条例に明確に位置づけます

赤ちゃんとかどもを全力で守ります

- 不妊症・不育症治療を受けやすい体制を作り、流産と死産を減らします
- 高齢妊婦、特定妊婦、外国につながるの妊婦の方も安心して出産・子育てできる周産期医療体制をつくります
- リトルベビーや医療的ケアが必要なこどもをはじめ、全てのこどもの命を守り健やかな成長を支援する為に、新たな市立総合医療センターを中心にNICU・GCU、周産期・小児救急体制をさらに充実させます
- 乳児院・児童養護施設をさらに支援するとともに、家庭的な環境の必要なこどもたちの為に里親と特別養子縁組を圧倒的に増やします
- ひとり親家庭への支援にさらに力をいれていきます

保健・医療・福祉・介護の専門家として 声にならない声に耳を傾け、政策にし現実を変えます

どうかあなたの声をきかせてください

藤野英明事務所 〒238-0007 横須賀市若松町2-31平坂第1ビル3階
携帯 090(3220)9998 メール fujinohideaki@gmail.com